

団長の心のものさし

創立36年
37年目に
突入！

この馬鹿さ加減
心地よいのがイケテル！

どんな37年目になるのが!?

2010年4月4日、合唱団「うたおに」は創立36年を迎えた。1974年の創立以来、他の合唱団とは一線を隔した特色を持って活動し続けてきた。当時としては珍しい内容ばかりだった。音楽会は年2回、コンクールでは不動の県代表、後には中部代表として全国的に君臨(?)した。1997年にその頂点を極めたわけだが、それはコンクールという、非常に限られた世界での話でしかない。それを得意満面に話すことは、今となっては恥ずかしい気持ちにもなるほどだ。

しかし、年2回の音楽会開催は注目に値する。当時の状況を考えると

おのことだ。僕はうたおにの凄さは「この馬鹿さ加減」にあると思っ

ている。世間が何も疑問を持たずに認めている価値観、常識を覆す能力がうたおにはある。それはメンバーが優れていることに他ならない。そしてパイオニア精神も兼ね備えていた。とにかく未開の地に踏み込む勇気が元来備わっているようだ。マジャー語によるコダーイ作品の演奏は最たるものだ。ただ単に新し



ケーキを囲んで

未開の地を求める勇気と夢



何気ない談笑も意味がある

い物好きではなさそうである。リゲティ、シェイファー

コンクールですべてを講じるのは危険だが、今挙げた3人の作曲家の作品を演奏したコンクールでは、他の大会では得られなかつ

もしい。しかも賞というお土産付き。ここに嵌(はま)ると抜け出すのは大変なのである。

みんなは抜け出した！お見事！これも力なり。長いうたおにの歴史において、これが第一の奇跡だと分かってますか？



気はこころ。ささやかなお祝い

うたおにの4月1日(木)の様子

練習内容

KOSZONTO

Happy Birthday

For(S)He's Jolly Good Fellow

今日は君のBirthday

「コタンの歌」より

船漕ぎ歌

マリモの歌

熊の坐歌

新年度から毎月「お誕生会」を行うにあたってパースデーソング3曲を練習。年度変わりで欠席者が多いとの見込みでお遊び感覚で歌ってみた。こうしてレパートリーが増えていくのもいいもんです。歌うことが多くの人癒しになればいいですね。まずは身近なところから、ということで。

いくつもの奇跡が うたおにを輝かせる！

団長になっておよそ29年。よく続いた。指揮者になって12年近く。踏ん張った。メンバーに力があるから、前に立つ人間は苦勞が多い。だから楽しみなのだ。

僕の仕事は、奇跡を起こすこと。想像できることなどしたくもない。